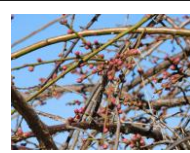




## 進路への取り組みは子どもを大人にする



一昨日から2月となりました。2月は昔から「如月（きさらぎ）」と言われます。その由来は諸説ありますが、まだまだ寒さが厳しい時期のために、更に衣を重ね着するという意味から「衣更着（きさらぎ）」になったという説が最も有力とされています。また、「如月」には寒い冬が終わり、春に向かって万物が動き始める時期という意味もあるそうです。昨日は「節分」そして今日は「立春」です。職員玄関前に植えられている梅の木のつぼみも膨らみ始め、寒さの中にも春の訪れを感じる季節となりました。

さて、1/22（水）の私立高校推薦受験を皮切りに高校受験が本格的にスタートしました。すでに合格して、校長室までお礼に来てくれる生徒もたくさんいました。これから私立高校の一般受験、公立高校の共通選抜、定通分割選抜と受験はまだ続きます。『ドラゴン桜』の主人公の桜木先生も入試本番直前の生徒たちに対して「やるだけのことはやった。あとは力を出し切るのみ」と激励しています。ここまで来たら、あとは“いつもどおり”に毎日の学校生活を送り、健康管理に努めながら、チャレンジして欲しいと思っています。

一般に進路学習というと、「受験に向けての準備」と受け取られがちですが、実際はそれだけではありません。学校ではキャリア教育にも取り組んでいます。具体的には『私の履歴書』や『自分を見つめて』というワークシート等の作成を通して、3年間の学校生活を振り返り、努力したことや今後の目標など考え、“自分自身を見つめ直す”取り組みをしています。

先日、そんな3年生の成長ぶりを感じる場面がありました。それは、1/20に行われた3年生にとって最後の全校評議委員会での一コマでした。議事の審議が終わり、3年生の評議委員の生徒たちが1、2年生に対して、これまでどんな思いを持って取り組んできたのか、評議委員会を通して学んだことなどを1人ずつ述べるシーンです。往々にして決まり切った言葉で一言お礼を述べて終わりにすることが多いのですが、今回は事前に自分の頭でしっかりと言葉を考えてきている様子が伝わってくる内容でした。ある生徒は次のように語っていました。

「学校教育目標である『笑顔で挨拶』の『笑顔』は周りの人々を幸せにしてくれる。そして、『挨拶』は人と人を繋ぐことになるので、学校だけではなく、地域でも実践して欲しい。今後も一人ひとりの生徒が廊下等ですれ違う時に挨拶を交わしたら、もっと滝中が良くなる。」

自分のことだけでいっぱいになってしまいがちな受験前のこの時期に、後輩のために、あるいは学校全体のためメッセージを残してくれた3年生に大変感動したと同時に、そのような場面に立ち会えたことに心からうれしく思いました。正に『進路への取り組みは子どもを大人にする』のではないのでしょうか。

## 子どもたちが“主語”だった体験活動！～1年ハヶ岳野外体験教室～

1年生は1/7から2泊3日でハヶ岳野外体験教室に行きました。インフルエンザが流行していた時期でもあったため、心配な部分もありましたが、おかげ様で保護者の方に迎えに来ていただくような大きなけがや病気もなく、無事終えることができました。これもひとえに保護者の皆様のご理解・ご協力があってこそと思っております。中には残念ながら体調不良で参加できなかった生徒もいました。しかし、多少具合が悪くても『行きたい』気持ちを優先するのではなく、「無理をしない」「他の生徒に迷惑をかけてはいけない」という賢明な判断をしてくれたことが、先ほどの結



果に繋がったと思っています。改めて感謝いたします。

さて、私も3日間子どもたちと共に過ごしましたが、実に子どもたちが生き生きと活躍する姿がそこにはありました。天気にも恵まれ、最高のグレンデ状態で滑ることができた『スキー教室』、氷点下の世界を体感した『シャボン玉作り』、班ごとに粉から練り上げて作った『ほうとうづくり』など、どれも普通の学校生活では体験できないような活動を十分に堪能することができたと思います。また、体験教室での入退所式は実行委員が、キャンドルファイヤーはレク係が中心となって運営し、その他の係生徒もそれぞれ責任を持って取り組んでいました。正に子どもたちが“主語”だった体験活動”ではないかと思いました。

子どもたちには、この三日間で学んだことを今後の学校生活に活かしてもらえたらと思っています。生徒が書いた「体験学習を終えて」の中で次のような文章がありましたので、紹介します。

- ・スキー体験教室を通して、体験したことがないことでもアドバイスを意識してやることでうまくできるようになることがわかりました。今後も何かを挑戦するときは、このことを思い出してコツコツやっていきたい。
- ・一人ひとりが時間や周りに気を配れば、もっとスムーズに移動することが可能になると思いました。なので、これからの学校生活では、時間や周りに気を配りながら生活できるようにしていきたい。



## 貴重なご意見、ありがとうございました ～学校評価～

12月には大変ご多用の中「学校評価」にご協力いただき、ありがとうございました。結果については後日改めてお知らせいたしますが、生徒指導や部活動、進路指導等については改善を求めのご意見もいただきました。保護者のお立場からご意見をいただくことは、本校の発展にとって欠かせないものだと考えております。ご指摘いただいた点は真摯に受け止め、今後、改善を図ってまいります。また、学校や教職員の思いが十分にご理解いただけていないと感じる部分については学校だよりや学年・学級通信等、様々な機会を通じて丁寧な説明が必要だと感じています。

そうした中で次のような有り難いお言葉もいただきました。

- ・学年通信や学級だよりなどを頻繁に出していただいているおかげで、親は学校の様子を知ることができ、とてもありがたいです。いつも楽しみに拝見させていただいています。
- ・不安なことがあると電話したり、学校に行ったりしていましたが、そんな私をどの先生方も時間を割いて嫌な顔一つ見せず対応してくださいました。感謝しかありません。

とても励みになります。ありがとうございました。今後も保護者の皆様と共に、より良い学校づくりに努めてまいります。

## 感性豊かな作品がいっぱい！～のびゆく子ら作品展～

1/21(火)～26(日)に藤沢市内小・中学校特別支援学級・特別支援学校の生徒の作品展が藤沢市民ギャラリーで開催されました。どれも日々の生活で培われた力や豊かな感性を感じるものばかりで魅了されました。本校からも8組の生徒の作品が展示されていました。クッション・陶器・版画・自画像・金属加工・おはじき・スタンドグラスなど、その作品の種類の多さでは他校に比べて、群を抜いていました。また、時間をかけて丁寧に仕上げた様子が伝わってくる作品ばかりで、とてもうれしくなりました。



## 2年生も1/23にカミイみさかスキー場(山梨県)でスキー・スノーボードを楽しんで来ました！

